

## 第 67 回北海道小学校長会 総会・研修会

只今、会長としてご承認いただきました、札幌市立東札幌小学校 校長の末原 恵蔵でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。令和 6 年度の役員を代表しまして、ご挨拶申し上げます。

はじめに、本日、ご来賓といたしまして、北海道教育委員会 教育長 倉本 博史 様、北海道都市教育長会 会長 檜田 英樹 様をはじめ、私どもをご支援いただいております教育関係団体の皆様、そして、歴代の道小会長及び役員の皆様方にご臨席をいただいております。誠にありがとうございます。

また、新年度が始まりまだ 1 か月余りのお忙しい中、全道各地より代議員・理事の皆様方にお集まりいただきましたことに、心から感謝申し上げます。

北海道小学校長会は、昭和 32 年の発足から 67 年目を迎える伝統ある組織であります。これまで、北海道の教育が幾多の困難に直面する中、「正論を以って正道を歩む」という理念の下、校長の職能向上と北海道教育の振興・発展を図ることを目的として、長きにわたり活動してまいりました。先人の皆様が脈々とつないていただいたバトンを感謝と敬意をもって引き継ぎ、今年度、943 名の会員の皆様と力を合わせながら、努力を積み重ね一層の進化を図ってまいりたいと考えております。

現在、学校現場では、いじめ・不登校等の生徒指導上への対応をはじめ、誰一人取り残されず全ての児童の可能性を引き出す多様な教育ニーズへの対応や特別支援教育の充実、GIGA スクール構想を踏まえた授業改善や教育 DX の推進、学校における働き方改革の推進、教職員定数の改善や人的措置の充実、災害等での教訓を生かした危機管理対応や学校安全教育の推進など、複雑かつ多様な課題が山積しております。

私たち校長は、このような教育課題や教育改革の推進に先頭に立って取り組んでいかななくてはなりません。自らの使命を強く自覚し、志高く挑戦し続け、子どもたちと学校の未来を見据えたビジョンをもち、確かな判断力と決断力をもって実行するリーダーであることが求められます。そのためには、まずは、校長として自身の健康を保つことが必要です。

心のバランスや平常心を保つことを含めた校長の健康維持が、自らのウェルビーイングの実現につながります。そして、校長の健康維持は組織の健康維持に直結します。校長は学校の組織文化や組織風土を創り出している一人であり、大きな存在感と影響力を有しています。私たち校長がいつも元気で、笑顔で、教職員一人一人を大切にすることで、健康で働きやすい職場が生まれます。教職員の健康を保ち、「創意と活力に満ちた学校」を創りましょう。それが、子どもたちのウェルビーイングを実現する近道であると私は確信しています。

学校の創意と活力は日々の授業に現れます。令和2年に全面実施された学習指導要領ですが、おおむね10年ごとに改訂されるとするならば、すでに折り返し地点を迎えております。しかしながら、コロナ禍の数年間があったとはいえ、学習指導要領で示す「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の定着については、道半ばであり、一層力を入れていかねばなりません。また、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実について、その具現化を図るためには、教育DXの推進が不可欠です。教育DXの推進については、端末の利活用に係る研修やサポート体制をはじめ、端末の整備や更新、ネットワーク環境の整備、クラウドコンテンツの充実、校務支援システムの整備等に地域格差も指摘されており、それらの解消にも取り組んでいかねばなりません。道内20地区の校長会と連携を密に状況を把握し、必要な措置や対応が取られるよう、地域格差のない教育条件の整備を目指して取り組みたいと思います。私たち校長も、教員のICT指導力をより一層高めるなど、人材育成に向けた取組の充実を図ってまいりましょう。

また、「創意と活力に満ちた学校」を創るためには、「働き方改革と処遇改善、人材確保」も必要です。働き方改革については、今年度から新たに、「学校における働き方改革 北海道アクションプラン」の第3期がスタートします。これまでの取組を踏まえ、「質の高い学び」と「持続可能な学校」の実現につながるよう、各学校において校長のリーダーシップの下、一層取組を推進していかねばなりません。また、深刻な課題となっている人材確保については、働き方改革と処遇改善を一体的に進めることが重要であるため、地区校長会と連携し、エビデンスに基づいた提案や要望を道や国に行ってまいります。私たち校長も、「働きや

すさ」はもとより、「働きがい」もっと言うと「生きがい」を実感することのできる、魅力ある職場づくりに努めてまいりましょう。

さて、道小は今年度、「未来を見据え、持続可能な活動と学びの場の充実に向けて」というスローガンを掲げました。学校のリーダーとして教育課題や教育改革の推進に先頭に立って取り組むためには、私たち校長自身が研鑽に励み、学び続けることが必要です。

その最大の取組が、道小教育研究大会です。今年度は、第67回北海道小学校長会教育研究空知・岩見沢大会が開催されます。校長の職能向上と本道教育の質の向上を目指して、研鑽を積む大切な機会となることを期待しております。

また、道小教育研究大会につきましては、昨今の会員減少や社会状況の変化といった課題から、持続可能な研究大会の在り方の検討が求められており、今年度、企画研修委員会を立ち上げて議論を重ねる予定です。様々なお声を真摯に受け止め、改善を図ってまいります。

更に、今年度からは、令和8年度に開催する第78回全国連合小学校長会研究協議会北海道大会に向けた取組を進めてまいります。3か年計画で準備を進める委員会を立ち上げ、開催地区である札幌市小学校長会の皆様と緊密な連携と意思疎通を図りながら準備を進めてまいります。

「分科会の充実こそが最大のおもてなし」という道小の理念を大切に受け継ぎ、全国の校長先生方との貴重な学びの場の実現を図ってまいります。

結びになりますが、各地区校長会が道小という組織を通して、今後も大同団結していくことが大切であり、それが全国連合小学校長会の活動の充実にもつながっております。道小としての凝集性をより一層高め、組織を活性化させるとともに、教育関係諸団体の皆様とも連携を図りながら、北海道の抱える教育課題の解決に向けて全力で努めてまいります。英知と創造力を発揮して、「未来を見据え、持続可能な活動と学びの場の充実に向けて」進む道小として、本日から令和6年度の第一歩を踏み出してまいります。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げ、私の挨拶と致します。

令和6年5月13日